令和９年度

九州大学大学院理学府

博士後期課程学生募集要項

（社会人特別選抜　４月入学）

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

本学府では，社会人研究者の再教育及び博士（理学）の学位取得希望者に門戸を開くため，社会人のうち教育・研究機関，企業等に在職し，入学後も引き続きその身分を有する者を対象に博士後期課程への社会人特別選抜を実施します。

１．募　集　人　員

専　　攻	募集人員
物　理　学	若干名
化　　学	若干名
地球惑星科学	若干名

２．出　願　資　格

次のいずれかに該当する者で，出願時において，企業等で研究に従事し，入学後も引き続きその身分を有するもので，所属長等の推薦を受けたもの。

(1)　修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和 9 年 3 月 31 日までに取得見込みの者

(2)　外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(4)　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって,文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(5)　国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(6)　外国の学校，第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び令和 9 年 3 月 31 日までに認められる見込みの者

(7)　文部科学大臣の指定した者

(8)　本学府において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，令和 9 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

３．出願資格の事前審査

出願資格(7)又は(8)により出願しようとする者は，願書を受理する前に，出願資格の有無に関する審査を行いますので，次により書類を取りそろえ事前審査期間内にインターネット出願システムに入力してください。

https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/admission/daigakuin_oshirase.html

(1)　事前審査に必要な書類

□	①入学願書・履歴書	インターネット出願システムに必要事項を入力すること。

□	②卒業証明書	最終出身大学院（大学）発行のもの ※出願資格(8)に該当する者は除きます
□	③成績証明書	
□	④研究歴証明書	（様式自由）研究題目・研究期間に関する証明書
□	⑤入学後の研究計画書	A4 判用紙に 2,000 字程度にまとめたもの（様式随意）
□	⑥研究論文等リスト	（様式自由）
□	⑦推薦書	勤務先の長又は研究指導者が作成したもの（本学府所定の用紙）

(2)事前審査申請期間

令和 8 年 11 月 16 日(月)から 11 月 20 日(金)午後5時まで

(3)事前審査結果

事前審査結果は，11 月 27 日(金)頃に，志願者宛てに通知します。

出願資格を認められた者は，「４．出願方法」出願期間内に「４．(2)提出書類」のうち事前審査で既に提出した以外のものを提出してください。

４.出　願　方　法

出願期間（インターネット出願システムへの入力期間）

令和 9 年 1 月 4 日(月)午前 10 時から 1 月 8 日(金)午後5時まで

⑴ 出願手続等

出願手続は，上記期間中にインターネット出願システムへの入力により行います。

https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/admission/daigakuin_oshirase.html

① 出願期間中に，出願完了のボタンを押し，出願を完了させてください。出願完了のボタンを押さないと，出願が完了したことになりません。出願手続き完了後，インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛に，出願が完了した旨のメールが届きますので，メールが届いたことを必ず確認してください。

② 出願完了のボタンを押す前に上記出願期間が過ぎた場合には，出願は受け付けられませんので，注意してください。

③ 出願書類等に不備のあるものは受理しません。

④ 出願後は，出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めません。また，出願書類等及び入学検定料は，返還しません。

⑤ 願書受付締切り後の出願資格確認を経て，出願を受理した場合は，インターネット出願システムにより受験票を表示します。受験票の表示開始は，インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛にお知らせします。

なお，受験にあたり必要な情報はインターネット出願システムに登録したメールアドレス宛てにお送りしますので，出願後はメールをよく確認してください。

⑥ 受験票は，インターネット出願システムからダウンロードし，受験当日までに必ず印刷しておいてください。

⑵ 提出書類

※アップロードする書類は,明瞭なものとしてください。
※アップロード可能な各ファイルサイズの上限は，それぞれ 20 MB です。

□	①入学願書	インターネット出願システムに必要事項を入力すること。
□	②顔写真データ	インターネット出願システムにアップロードすること。 ・３か月以内に撮影した志願者本人が判別できるもので，正面上半身無帽（サイズの比率は縦４：横３）のものとする。 ・使用できるデータは，png，jpg，jpeg 形式のものとする。
□	③修了（卒業）証明書	最終出身大学院所属長が発行するもの PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。 ※　入学手続の際は，原本の提出が必要です。
□	④成績証明書	最終出身大学院所属長が発行するもの PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。 ※　入学手続の際は，原本の提出が必要です。
□	⑤研究歴証明書	研究題目・研究期間に関する勤務先の長又は研究指導者の証明書（様式随意） PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。
□	⑥入学後の研究計画書　※	A4 判用紙に 2,000 字程度にまとめたもの（様式随意） PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。
□	⑦研究論文等リスト	（様式随意） PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。
□	⑧研究論文・修士論文等　※	①代表的な研究論文 ②修士論文・修士論文要旨 PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。
□	⑨推薦書　※	勤務先の長又は研究指導者が作成したもの（本学府所定の用紙） PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。
□	⑩住民票又は 在留カード写し(両面)	日本に在留している外国人のみ提出（登録していない者は，パスポートの写し） PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。
□	⑪その他参考資料	学術論文，特許公報の写し等 PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。
□	⑫入学検定料 （検定料 30,000 円）	振込の控えを PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。 検定料の振込方法については，「⑶ 入学検定料」および本要

		項に掲載の「九州大学入学検定料払込方法」を参照すること。

※使用言語は，日本語又は英語とします。

⑶入学検定料（**検定料　30,000 円**）

納付可能期間　令和 8 年 11 月 30 日（月）～ 令和 9 年 1 月 12 日（火）

入学検定料は，ｅ-支払いサイト（https://e-shiharai.net/）へ事前申込の上，①コンビニエンスストア，または②コンビニエンスストア以外（クレジットカード等）により納付すること。

なお，振込手数料は，志願者が負担してください。

【①　コンビニエンスストアで決済した場合】

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。

【②　コンビニエンスストア以外で決済した場合】

「申込内容照会」の照会結果を PDF にして，インターネット出願システムにアップロードすること。

（お願い）ｅ-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については，同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」（https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html）を参照した上で，イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

５．選　抜　方　法

学業成績，人物ともに優れ，将来，各専攻分野において貢献できる者を，専攻ごとに口頭試問及び必要に応じて筆記試験を行い総合的に審査し，合否を判定します。

６．試験日時と場所

専　　攻	日　　時	試　験　内　容	場　所	備　　考
物　理　学	**1 月 18 日(月)，19 日(火)** 午前 10 時 00 分から	学力検査等	九州大学大学院理学府(伊都キャンパス)	詳細は，伊都キャンパスのウエスト 1 号館C棟2階エントランスホールの掲示板に掲示します。
化　　学	**1 月 18 日(月)，19 日(火)** 午前 9 時 00 分から	志望研究グループに関連した研究についての発表と試問。ただし英語に関する試問を含む場合がある。		
地球惑星科学	**1 月 26 日(火)，27 日(水)** 午前 10 時 00 分から	志望研究グループに関連した研究についての発表と試問		

※試験当日は，受験票を必ず持参してください。

７．合 格 者 発 表

令和 9 年 2 月 5 日（金）午前 10 時，伊都キャンパスのウエスト 1 号館 C 棟 2 階エントランスホールの掲示板に合格者の受験番号を掲示し，合格者宛て「合格通知書」をインターネット出願システムにて送付します。

また，理学府のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

なお，合格・不合格についての問い合わせには一切応じません。

８．入 学 予 定 日

令和９年４月１日

９．入 学 手 続 等

入学許可の通知を受けた者は，所定の期間内に必要な入学手続を行ってください。所定の期間内に入学手続を行わない場合は，入学しない者として扱いますので注意してください。

入学手続に必要な書類等については，合格通知書を送付する際に通知します。

(1)　入学手続の際に納付する経費

入学料　　282,000 円（予定）

授業料　　前期分　　267,900 円（年額 535,800 円）（予定）

（注）上記納付金額は予定であり，入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は，改定時から新たな納付金額が適用されます。

(2)　手続関係

【入学手続き書類の配布】

令和９年２月下旬頃に，合格者宛て入学手続き関係書類をインターネット出願システムにより送付します。

【入学手続き期間】

令和９年２月下旬～3 月中旬の間で，１週間程度を設定します。詳細は，入学手続き書類でご確認ください。

(3)　入学承諾書

勤務先の長（公務員は任命権者）が作成した「入学承諾書」（様式随意）を提出してください。

10. 注　意　事　項

(1)　出願を希望する者は，出願前のなるべく早い時期に各志望研究グループの担当教授等に研究内容を問い合わせるなど，事前に相談し，了解を得ておいてください。

(2)　出願書類に不備がある場合は受理しません。

(3)　出願手続後の書類の変更，検定料の払い戻しはできません。

(4)　社会人特別選抜に関する照会，出願書類の提出等は理学部等教務課学生支援係に行ってください。

(5)　出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合，合格後または入学後においても，遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

11. 障害等のある入学志願者について

本学では，障害等のある者に対して，受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり，そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については，内容によって対応に時間を要することもありますので，令和８年 11 月 16 日（月）までに理学部等教務課学生支援係まで相談してください。

12. 長期履修制度について

本学では，学生が職業を有する，あるいは障害がある等の事情により，標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に，その計画的な履修を認める制度を導入しています。

この制度の適用を申請し認められた場合，標準修業年限分の授業料を長期履修の年数で除した額を毎年納入することになります。

なお，手続等の詳細は，入学手続時に通知します。

○ 出願書類における個人情報の保護について

１．出願書類に記載の個人情報は，入学者選抜で利用するほか，次のとおり利用します。

(1) 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。

(2) 大学院の成績証明書を，1年次における授業料免除等の修学支援業務で利用します。

２．入学者選抜で利用した成績等の個人情報は，個人が特定できないように本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

３．出願書類に記載の個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令に認められる場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【お問い合わせ先・提出先】

〒819-0395　福岡市西区元岡 744
（ウエスト1号館A棟3階305）
九州大学理学部等教務課学生支援係
TEL. 092-802-4038（ダイヤルイン）

九州大学大学院理学府

九州大学大学院理学府は、1939年に設置された理学部に端を発し、その後1953年に開設された大学院理学研究科に始まります。それ以降、何度かの拡充を経て、2000年に大学院理学府に改組されました。修士（理学)、博士（理学）の学位授与のための教育は、2000年当初には基礎粒子科学、分子科学、凝縮系科学、地球惑星科学、生物科学の５専攻にて行われていましたが、2008年より物理学、化学および地球惑星科学の３専攻に改組されました。九州大学では、数理学府、システム生命科学府においても、それぞれ数学、生物科学の分野で、理学府と密接に関連した大学院教育を行っています。

理学府では、学生が幅広い分野において教育を受け、研究することによって、高度な専門家として育まれるように、知的環境の整備を行っています。学位を取得するためには、このような環境の中で単に講義を受けるだけでなく、独創的思考能力、課題探求能力と問題解決能力を身につけることが求められます。理学府の教育は、教員と学生の学術的な交流を促進し、これらの能力の涵養に重点を置いて行われています。

急速に変革する世界において、九州大学大学院理学府は、高度な教育と最先端の研究の中心として、社会の付託に応えています。

物理学専攻アドミッションポリシー

１．教 育 理 念

私達の世界に存在する物質群は基本的な構成要素が複合的に集合して形成されています。本専攻ではこのような単純から複雑へ至る物質の性質を理論及び実験物理学的手法を用いて，素粒子・原子核などのミクロスケールから固体・液体などのマクロスケール，さらに宇宙スケールに及ぶ幅広い物質系を対象にした研究を行っています。新しい現象の発見及び解明を通じてこれらの系を支配する普遍的な原理を確立し，当該分野に大きな進歩をもたらすことを目指し，研究・教育を行っています。理学を最も根源的な視点から若者に伝え，確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員等の人材を育成します。一方，上記の学術的素養を基礎として，枠組みにとらわれず，自立的に計画・立案でき，遭遇する問題に柔軟に対処できる高度専門職業人の育成も目指しています。

２．教育プログラム

研究者として自立して研究活動を行うに足る，または高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍しうる高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を持った学生を養成します。さらに学生が国内・国外の学会・研究集会に積極的に参加し発表・討議できる機会を確保し，国際的な学会で活躍できる最先端の研究者・教育者，高度な専門的素養を備えた職業人，及び知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成することを目標としています。

３．求める学生像

このような観点から本専攻では十分な基礎学力とそれを応用する柔軟な思考力を持ち，将来研究者，教育者あるいは技術者として人類社会の科学技術の水準の向上を図り，その進歩と持続的発展に寄与する強い意志と適性を持った学生を求めています。

４．入学者選抜の基本方針

それぞれの専門分野で幅広く深い学識を持ち，研究能力またはこれに加えて高度な専門的職業を担うための卓抜した能力を持った人材，科学技術社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の育成を目指し，その目的に適合する学生の選抜を行います。選抜は修士論文に関する口頭試問，専門的知識に関する口頭試問及び研究に対する基本的な姿勢等が含まれ，研究者としての能力の有無を審査します。

５．そ の 他

・専攻の情報

本専攻の情報は，ホームページ https://www.phys.kyushu-u.ac.jp/ にあります。

化学専攻アドミッションポリシー

１．教 育 理 念

原子から小分子，複雑な分子，高分子，さらに生体を構成する高分子にいたる様々な階層の物質構成単位の性質や挙動について，それらの単独から集合体に至るまでの幅広いスケールで取扱う基本原理を，化学的な物質観に基づいて教育・探求します。最先端の理論及び実験手法を用いて教育することで，独創的な研究を遂行する能力を身に着け，将来，化学の研究，教育，技術開発および生産の分野で活躍できる専門家の育成を目指しています。

２．教育プログラム

それぞれの研究室での研究活動を通じて，国際的に活躍できる最先端の研究者，あるいは高度の専門的素養を備えた職業人として，自立して活動できる能力を身につけた人材を育成します。すなわち，専門分野における最新の課題について，自立的に学び，新しい問題を発見し，それを解決していくことのできる能力を身に着けることを目標としています。さらに，学生が国内・国外の学会・研究集会に積極的に参加し発表・討議できる機会を確保し，国際的な学会で活躍できる最先端の研究者・教育者，高度な専門的素養を備えた職業人，及び知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養ある人材の養成を図ります。

３．求める学生像

化学の基礎知識と国際語である英語の能力を有し，将来，化学の分野で指導的役割を果たす研究者，教育者，あるいは高度な専門的知識をもった職業人として，人類社会に貢献したいという強い熱意と適性をもった学生を広く求めています。

４．入学者選抜の基本方針

総合的な専門化学の知識を有し，国際化に対応できる研究資質と熱意を兼ね備えていることを基準として，学生の選抜を行います。選抜は修士論文に関する口頭試問，専門的知識に関する口頭試問等が含まれ，研究者としての高い能力の有無が問われます。

５．そ の 他

・専攻の情報

本専攻の情報は，ホームページ https://www.scc.kyushu-u.ac.jp にあります。

地球惑星科学専攻アドミッションポリシー

１．教 育 理 念

本専攻は，地球と太陽系の起源・進化過程，現在の姿，将来像および太陽・惑星・地球システムの複雑な相互関係を理解することをめざしています。そのために，太陽・惑星，惑星間空間，宙空，大気，海洋，地球表層，地球内部を対象として，幅広い視野に立った教育を行っています。きわめて複雑なシステムである地球惑星の起源・進化から，現状・未来にわたる広い時間スケールの現象から問題点を抽出する能力を養成します。その解決に向けた研究の立案・計画・ 調査・観測・実験・理論・解析にまたがる多彩な手法を身につけ，これを通じて，学術的素養とともに多角的・学際的視野の育成を図ります。

２．教育プログラム

博士後期課程では，上記の教育理念に立脚した上で，専門分野の最先端の課題について自立的に学び，新しい問題を発見し，それを解決していくことのできる能力を身につけることを目標として，研究室の特色や学生の自主性を生かした個別の教育を行います。

・教育指導体制

学生は主に所属研究グループの教員の指導により博士論文作成に向けた研究を進めますが，他研究グループや他大学などとの共同研究を通じての指導が行われることもしばしばあります。

３．求める学生像（求める能力，適性等）

本専攻では，以上のような教育理念・目的に沿って，博士後期課程の学生として次のような入学者を求めます。

⑴ 修士論文の研究を通じて，地球惑星科学の研究を進める上で必要な，各専門の基礎となる学力を十分に習得している人。

⑵ 地球と太陽系の起源・進化，現状，未来および惑星・地球システムにおける自然現象の相互関係を理解しようとする探求心をもっている人。

⑶ 地球惑星の起源・進化から，現状・未来にわたる問題を自立的に研究して独創的・先進的成果を導き，新たな研究分野を開拓・創出しようとする意欲をもって研究者をめざしている人。

⑷ 次代を担う若者の教育・啓発ができる教育者および現代の高度科学技術社会の基盤を地球惑星科学の立場から担うことができる高度専門職業人として社会に貢献したいと考えている人。

⑸ 研究者，教育者，高度専門職業人として，地球惑星科学における幅広くかつ高度な専門性を活かして国際的な場で活躍したいと考えている人。

４．入学者選抜の基本方針

それぞれの専門分野で幅広く深い学識を持ち，研究能力またはこれに加えて高度な専門的職業を担うための卓抜した能力を持った人材，科学技術社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の育成を目指し，その目的に適合する学生の選抜を行います。選抜は，修士論文発表およびその内容と関連事項についての質疑応答に対して総合的に評価します。

５．そ　の　他

・教員の研究活動

教員の研究は，太陽地球系物理学，宇宙地球電磁気学，大気圏電離圏融合宇宙天気科学，大気流体力学，大気流体モデリング，気象学・気候力学，地球深部物理学，地球内部ダイナミクス，岩石循環科学，地球進化史，古環境学，火山科学，観測地震・火山学，理論宇宙進化学，物質宇宙進化学，有機宇宙地球化学，地球システム化学，地球内部物質学，地球惑星博物学（古生物学分野）など地球内部から宇宙空間にわたる広い領域において，また太陽系創世期から未来までの長い時間にわたって，観測，実験，理論，数値シミュレーションなどさまざまな手法のもとに行われています。研究内容は日々進んでおり，最新の内容は地球惑星科学科ホームページで公開しています。

・就職，進学状況

博士の学位を得た後に，国内外の大学や研究機関，企業の研究所などに就職します。

・その他受験生が主体的に進路選択をする上で必要な情報

地球惑星科学専攻の教育や地球惑星科学部門の研究活動は，ホームページ

https://www.geo.kyushu-u.ac.jp

で広く紹介していますので，受験生は進路選択に役立ててください。

九州大学大学院理学府概要

〔物理学専攻〕

専攻	専門分野	研究グループ	研究内容	教員 教授	教員 准教授
物理学専攻	粒子宇宙論	素粒子理論	素粒子理論物理学全般にわたる研究（場の量子論，量子異常，格子ゲージ理論，厳密くりこみ群，標準模型を超えた物理，ヒッグス粒子，ニュートリノ，暗黒物質，素粒子模型構築とその現象論・宇宙論，超弦理論，素粒子統一理論，カラビ・ヤウコンパクト化，機械学習，量子重力，AdS/CFT対応，量子エンタングルメント，共形ブートストラップ，二次元共形場理論，圏論的対称性，アノマリー，非超対称弦理論とブレーン）。	***鈴木　博	津村浩二 藤原素子 ＃楠亀裕哉 ＃KAIDI Justin
		理論核物理	原子核・ハドロン多体系の理論的研究（少数粒子系量子論，量子反応論，核変換，元素の起源と天体核物理，原子核内の弱い相互作用、多体問題の計算物理）	緒方一介	湊　太志
		量子宇宙物理理論	宇宙物理学と量子情報物理の理論的研究（相対論的量子情報理論，量子エンタングルメントと重力の量子性，曲がった時空上の場の量子論，宇宙論，インフレーション宇宙，重力波，重力理論と暗黒エネルギーの検証）。	山本一博	菅野優美 ＃＃FOO Joshua
		粒子系理論物理学	粒子系物理学の理論的研究（ハドロン物理学，素粒子現象論，初期宇宙，弦理論，数理物理学，理論天文学・宇宙物理学，高エネルギー天体物理学）。	◆大河内　豊	◆小島健太郎 ◆中里健一郎
	粒子物理学	素粒子実験	LHC やJ-PARC をはじめとする最先端の加速器を用いた実験で，素粒子とその相互作用の研究を行い，初期宇宙の謎に迫る。将来実験のための開発研究も行う。	東城順治	音野瑛俊
		実験核物理	原子核･ハドロン多体系に関する実験的研究（新核種･新元素の合成，原子核のダイナミクス・物性の研究，不安定核・宇宙核物理の研究等），核物理の応用研究(基本対称性、加速器質量分析 等)，関連する機器開発研究（加速器，粒子分析器，放射線検出器等）。九大内および学外の加速器施設で実験する。	若狭智嗣 坂口聡志	寺西　高 市川雄一 田中聖臣
		粒子系実験	粒子加速器施設で生成される量子ビームを用いた素粒子の実験的研究。	◆吉岡瑞樹	◆有賀智子
	物性基礎論	物性理論	物性理論・統計物理学およびその手法を用いた理論的研究。具体的には， (i) 液晶，高分子，コロイド，アクティブマター，生物系，水などのソフトマターの統計物理， (ii) ガラス，アモルファスなど非平衡系の相転移現象， 等の研究を行う。	福田順一	§樋口祐次 松井淳(講師)
		★数理物理	無限自由度量子系の数理的研究。		*成清　修
		凝縮系理論	量子凝縮系における幾何学的量子現象の理論的研究。特にトポロジカル物質，ディラック・ワイル電子系，分数量子ホール系などにおける特異な量子輸送，磁性，スピントロニクス，非可換エニオンに関する新現象の探索。	野村健太郎	磯部大樹
	量子物性	磁性物理学	3d，4f電子に起因する新奇な量子現象や相転移の探索とそのメカニズムの解明および新物質の開拓。高圧力による物性制御。希土類元素の価数揺動現象，近藤効果，重い電子系。		光田暁弘
		創発量子物性	固体中の電子やスピンが示す多彩な量子凝縮現象（例えば非従来型超伝導、量子臨界現象、量子スピン液体など）の実験的研究。様々な計測手法と結晶/薄膜作製技術を駆使し、新奇な量子現象や素励起の探索、解明ならびに人工制御に関する研究を行う。	笠原裕一	
		光物性	光学的手法を用いた量子物質・量子現象の実験的研究。テラヘルツ時間領域分光や第二高調波発生（SHG）等の非線形・超高速分光技術を開発し、超伝導やスピン系における集団励起、対称性の破れ、トポロジカルソリトンの物理を時間軸とエネルギー軸の両面から解明する。		中村祥子
	複雑物性	複雑物性基礎	ソフトマター・生命現象・粉粒体など非線形・非平衡複雑系に関する実験・シミュレーション・理論による総合的な研究。光・電気を用いた新しいメソスコピック物性測定法の開発および応用研究。	**木村康之	
		複雑生命物性	生体ソフトマターが代謝活動の下で生み出す複雑系，殊に，ガラス・ゲル・相分離状態が動的に複合・競合した系としての生命研究。細胞内において効率的なエネルギー代謝が実現する現象を，非平衡・非線形力学，情報(統計)熱力学の観点から探る。	水野大介	

*は令和９年３月末日定年退職予定
**は令和 10 年３月末日定年退職予定
***は令和 11 年３月末日定年退職予定
****は令和 12 年３月末日定年退職予定

★印のついた研究グループは令和９年度は募集をしないので志望しないこと。

◆ 基幹教育院
＃ 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員（令和 11 年３月末日で任期満了予定、更新の可能性有）
＃＃ 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員（令和 13 年３月末日で任期満了予定、更新の可能性有）
§ 情報基盤研究開発センター

〔化学専攻〕

専攻	専門分野	研究グループ	研究内容	教員	
				教授	准教授
化学専攻	無機・分析化学	錯体化学	太陽光エネルギー変換，水素エネルギー製造，燃料電池などに関わる金属錯体を基盤とした光触媒反応，および酸化還元触媒反応の開発。特に，水の可視光分解反応を用いた人工光合成の研究。色素分子フタロシアニン類の金属錯体合成と電気化学的，分光学的特性の研究。新規かご型シルセスキオキサンの合成と機能性評価に関する研究。	*酒井　健	小澤弘宜 *岡上吉広(講師)
		錯体物性化学	金属錯体を基盤とする新規な分子集合体の構造と磁性，電気物性及び機能の研究。動的構造と物性の相関の研究。外場応答性化合物の開発。多孔性化合物の吸着特性の研究。脂質膜と金属錯体による機能性空間の研究。異方的な場における新奇物性，機能の研究。	大場正昭	大谷　亮
		生体分析化学	分析化学および有機化学を駆使した、膜タンパク質を含む生体膜における相互作用解析法開発。生体膜を解析するための分子プローブ開発および生体関連分子の合成。これらの手法を、膜作用性薬剤の分子機構解明や創薬へと応用。	松森信明	鳥飼浩平(講師)
		分光分析化学	超短パルスレーザーを用いた最先端の分光分析手段の開発とそれを用いた人工光合成，光触媒，有機エレクトロニクスなどの各種機能物質の動的過程，構造の時間，分子レベルでの解明。	****恩田　健	宮田潔志
		放射化学	原子力分野のフロントエンドとバックエンド，原子炉水化学，核医学，あるいは複合分野のフロントエンドに関わる放射性同位元素を含む金属元素の分離・濃縮化学。軽元素から超ウラン元素までの分離・濃縮機構に関する平衡論・速度論的研究と予測モデルの構築。		■立花　優
		機能性錯体化学	エネルギー変換を担う機能性金属錯体に関する研究。特に、電気/光化学的な水素生成または二酸化炭素還元反応を駆動する分子性触媒開発。		$山内幸正
	物理化学	分散系物理化学	両親媒性高分子，高分子ゲルをモデル化合物とした生体機能の分子物理化学的解明。生体由来高分子ゲル（眼球組織・軟骨）の構造・物性と機能の解明。高分子ゲルの表面摩擦のダイナミクス。	*安中雅彦	槇　靖幸
		理論化学	分子及び分子集合体の電子構造と化学反応の理論的研究。特に，新しい電子構造理論の開発とその応用，溶液系/生体分子系のダイナミクス計算手法の開発と応用，量子コンピュータ上での量子化学計算アルゴリズムの開発。	****中野晴之	渡邉宙志 渡邉祥弘(講師)
		量子化学	質量分析法，レーザー分光法による原子分子クラスターの物性・反応性研究を基軸とするナノ物質科学の実験研究。	**寺嵜　亨	堀尾琢哉
		光物理化学	分子科学，レーザー光学，情報科学の融合による新しい分子イメージング法の開発と先端材料・生細胞・生体組織の分子レベル可視化。	平松光太郎	
		構造化学	金属イオンおよび芳香族分子の溶媒和ならびに金属イオンと生体関連分子の相互作用に関する分光学的研究。		**大橋和彦
		ソフト界面化学	ソフトな界面における界面活性物質の吸着単分子膜および脂質二分子膜の状態と構造に関するコロイド・界面化学的研究。	◆瀧上隆智	
	有機・生物化学	触媒有機化学	均一系触媒及び不均一系触媒を用いた有機合成，基礎化学品および炭素資源変換反応，不斉合成反応の開発と速度論的研究。	徳永　信	山本英治
		生物有機化学	生物活性天然有機化合物の構造決定と全合成研究。作用標的分子の探索と生物活性発現機構の解明。生物活性分子の設計と合成を基盤とした構造活性相関研究。	****大石　徹	土川博史
		動的生命化学	有機合成化学と遺伝子工学の技術を共に用いて、タンパク質，核酸，糖鎖及び脂質が制御する生命現象を明らかにするケミカルバイオロジー研究。	堀　雄一郎	弓本佳苗
		構造機能生化学	核内受容体およびオピオイド受容体のリガンド/受容体の相互作用と構造活性相関に関する研究。ハロゲン含有環状化学物質による核内受容体の転写制御および薬剤耐性の分子機構解明。	松島綾美	
		量子生物化学	統計力学を用いた分子論的描像に基づく溶液の性質とその中での化学反応の研究。特に表面及び蛋白質，核酸などの生体分子を舞台にして起こる，吸着（他分子の認識），電子移動，光応答等の理論的研究。		秋山　良
		生体分子化学	生理活性物質の理論的分子デザイン法に関する研究，機能性ペプチドの開発研究，化学物質の酵素や受容体に対する結合性解析法に関する研究。	◆野瀬　健	
		有機反応化学	環境に適応した有機化合物変換反応に関する研究。遷移金属触媒とそれを用いた立体・化学・反応位置制御法の開発		◆内田竜也
		生体触媒化学	天然物生合成経路における新規化学反応の探索。金属酵素、ラジカル酵素触媒機構の解明。酵素の精密機能制御による生体触媒の開発。		&牛丸理一郎
		生体分析化学（兼担）	有機化学および分析化学を駆使した、膜タンパク質を含む生体膜における相互作用解析法開発。生体膜を解析するための分子プローブ開発および生体関連分子の合成。これらの手法を、膜作用性薬剤の分子機構解明や創薬へと応用。	松森信明	鳥飼浩平(講師)
	先導物質化学	ナノ物性化学	化学，物理，生物の境界領域研究。金属・酸化物・半導体ナノ材料とソフトマテリアルとの界面における局所的な相互作用や協同現象の解明とその応用。プラズモン共鳴によるナノ光制御とバイオセンシング。	*☆玉田　薫	☆有馬祐介
		光機能物質化学	特異な光，磁気，電子，メカニカル機能を有する分子性物質の開発と物性の解明。光に応答する分子性機能物質の開発。光磁性体，光応答性量子磁石の開発。	☆佐藤　治	
		ナノ機能化学	ナノスケール材料の創製（金属，合金，酸化物，錯体）と物質変換，エネルギー変換，物質貯蔵，イオン伝導，磁性，量子拡散に関わる新機能発現。		▼小林浩和

*は令和9年3月末日定年退職予定
**は令和10年3月末日定年退職予定
***は令和11年3月末日定年退職予定
****は令和12年3月末日定年退職予定

◆ 基幹教育院
☆ 先導物質化学研究所
▼ ネガティブエミッションテクノロジー研究センター
■ アイソトープ統合安全管理センター
& 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員
（令和12年1月末日で任期満了予定、更新の可能性有）
$ 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員
（令和12年3月末日で任期満了予定、更新の可能性有）

〔地球惑星科学専攻〕

専攻	専門分野	研究グループ	研究内容	教員	
				教授	准教授
地球惑星科学専攻	流体圏・宇宙圏科学	太陽地球系物理学	太陽風−磁気圏−電離圏結合系における大域的プラズマ力学と各領域間相互作用過程の研究。		渡辺正和
		宇宙地球電磁気学	太陽面から太陽風・磁気圏・電離圏・地球圏までの電磁気現象やオーロラなど宇宙天気現象の全地球的観測・解析・理論研究。	吉川顕正	****河野英昭
		大気圏電離圏融合宇宙天気科学	地球惑星における大気圏・電離圏結合素過程（電磁気学・力学・化学）の解明と宇宙天気予報への応用	Liu Huixin	
		大気流体力学	中層大気の力学や対流圏との相互作用に関する研究、および惑星大気を含む地球流体に関する研究。		*中島健介
		大気流体モデリング	地球大気モデリング、中層大気及び超高層大気の数値シミュレーション、例えば大気大循環および大気波動に関する理論的研究。	**三好勉信	
		気象学・気候力学	気象、気候システムに関する研究。例えば熱帯気象、モンスーン、温帯低気圧、台風、シビアストーム、雲物理、異常気象、大気海洋相互作用、気候変動等の研究。	望月崇	
	固体地球惑星科学	地球深部物理学	地球電磁気学、及び固体地球惑星物理学の研究。	高橋太	
		地球内部ダイナミクス	地球内部構造と地球内部ダイナミクスの研究。		吉田茂生
		地球進化史	堆積岩の形成過程及び島弧・変動帯の堆積作用とテクトニクスに関する地球史的研究。	尾上哲治	***清川昌一
		古環境学	古海洋と海洋沈降粒子の研究。	岡崎裕典	
		岩石循環科学	変成岩を用いた地殻深部、上部マントルでの物理化学過程の研究。化学組成とそれに関連する理論に基づく岩石成因の解明。		****池田剛
		火山科学	野外地質調査、物質科学分析、室内実験、数値計算に基づくマグマ活動と噴火メカニズムの研究	下司信夫	
		観測地震・火山学	地震及び火山現象の観測に基づく地震発生・火山噴火過程の研究。	**※松本聡	※相澤広記 ※江本賢太郎
	太陽惑星系物質科学	理論宇宙進化学	理論物理学的手法、数値シミュレーション及び天文観測による宇宙の進化と星・惑星形成の解明。	町田正博	$アルズマニアン ドリス
		物質宇宙進化学	地球外物質の科学分析及び室内再現実験による銀河・惑星系の起源と進化の解明。	岡崎隆司	
		有機宇宙地球化学	有機物の前生命的合成や隕石有機物の解析による化学進化、古細菌の生物有機地球化学、有機物の同位体地球化学と生命環境。		山内敬明
		地球システム化学	地球の形成から現在まで、また、地球の深部から表層まで、化学の目で地球を四次元的に調べる研究。	山本順司	荒川雅
		地球内部物質学	高圧実験による地球・惑星内部の動的現象の解明。プレート地震やマントル対流、惑星氷や衝撃変成隕石に関する研究。	久保友明	
	地球惑星博物学	地球惑星博物学	化石生物の古生態と形態進化の研究	@伊藤泰弘	

*は令和9年3月末日定年退職予定
**は令和10年3月末日定年退職予定
***は令和11年3月末日定年退職予定
****は令和12年3月末日定年退職予定

※ 地震火山観測研究センター
@ 総合研究博物館
$ 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員
（令和12年3月末日で任期満了予定、更新の可能性有）

２つの専攻横断型プログラムについて

理学府では，各専攻での専門教育に加えて，専攻横断型プログラムがあり，これら２つを重ねた重層的な教育を行っています。ここではこの専攻横断型プログラムについて説明することにします。

理学府は，国際的な場で活躍できる広い視野を持った先端的研究者と高度な能力と学識を備え社会の広い分野で活躍する高度な専門家を育成することを目的としています。この２つの人材養成目的に対応しているのが，２つの並列した専攻横断型大学院教育プログラム，「フロントリサーチャー育成プログラム」（以下，FRプログラム）と「アドバンストサイエンティスト育成プログラム」（以下，ASプログラム）です。理学府に入学した学生は，各専攻での専門的な教育に加え，全員がどちらかのプログラムに所属し，それぞれが目指す方向に合致した教育を受けることになります。専攻における高度な専門教育と専攻を横断した人材養成目的に応じた教育との調和ある重層的教育により，社会が要請する多様な人材の養成を目指そうというところが，本教育システムの最大の特徴で，このような教育システムは国内の大学院では類を見ないため，様々な方面から注目を集めています。

FR プログラムは先端的な研究者を目指す学生用のプログラムで，博士後期課程までの５年間の教育プログラムです。研究者にとって必要な資質を伸ばすための授業等が配当されるとともに，指導体制にも工夫を加えています。このプログラムの大きな特色として，まず指導体制が挙げられます。研究指導は主指導教員だけでなく，他の複数の教員（他専攻教員を含む）を含めた「学際的指導教員チーム」から受けることになります。これは，複数の教員の指導を受けることで，広い視点から研究を行い，また学生自身にも広い視野を持ってもらうために取り入れた体制です。授業科目としては，広い研究背景のなかで，自ら課題を企画し問題を解決する能力の養成を目的とする「リサーチマネージメント」や，これまでの研究を調査し，それらを論理立てて記述する能力を育てる「リサーチレビュー」，研究計画を立て，それをうまく発信できる能力をつけるための「リサーチプロポーザル」などの科目があります。さらに英語での発表や論文作成の力をつける「英語表現」などの科目もあります。海外・国内での学会発表を積極的に支援したり，学生が中心となったシンポジウムも奨励しています。このようななかで，21 世紀を担う先端的な科学者の養成を行おうとしています。

一方，AS プログラムは高度専門家を育成することを目的とし，その資質を伸ばすための授業等が配当されています。社会へ出る人が多いので，修士課程２年と博士後期課程３年のプログラムに分かれています。博士後期課程の内容は FR プログラムと共通な点が多いので，ここでは修士課程プログラムの主要なポイントだけを述べることにします。AS プログラムでも複数の教員からなる「指導教員チーム」が学生指導を行います。FR プログラム同様，複眼的な視点を身につけるようにしてほしいとの考えに基づいています。ただし，FR プログラムと違って，他専攻の教員は必ずしも含まれません。FR プログラム科目の「リサーチマネージメント」に対応する科目が「リサーチアドミニストレーション」で，セミナー等を通して問題点を自ら設定・解決する能力を養うことを目的としています。また「リサーチレビュー」も必修となっています。他のプログラム科目としては，「インターンシップ」，「広域基礎科学」，様々な分野の外部講師による「先端学際科学」などがあり，社会との接点を広く構築するために多様な科目が備えられています。さらに，年ごとに多彩に開設される大学院全体の共通科目から選択することも可能です。これらは大きな括りのなかで自由に選択することができ，様々な方面での高度専門家を目指す学生個々の方向性に従い，色々な科目を組み合わせて履修することができるように工夫されています。英語はアドバンストな「英語表現」（FR 科目の「英語表現」とほぼ同じですが会話が重視されています）と一般的な「英語演習」のどちらかが選択できるようになっています。このように，カリキュラムに大きな自由度を持たせることで将来の職業を見越した科目選択ができるとともに，全体として高度専門家に必要な能力を涵養できるようになっています。

九州大学　入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、
もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※クレジットカード・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。
申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。➡

2 お支払い

セブン-イレブン
【払込票番号:13ケタ】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

ファミリーマート
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

マルチコピー機へ
↓
代金支払い
↓
番号入力画面に進む
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

ローソン・ミニストップ
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

Loppi へ
↓
各種サービスメニュー
↓
各種代金・インターネット受付
↓
各種代金お支払い
↓
マルチペイメントサービス
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。

ペイジー対応ATM
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ペイジー)」
を選択
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
支払方法を選択
(現金またはキャッシュカード)し、
検定料をお支払い

ペイジー対応ネットバンク
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、
「税金・各種料金の払込（ペイジー）」
をクリック
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
画面上で金額を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

ネット専業銀行
楽天、auじぶん、PayPay銀行他

お申し込み確定画面から
『ネットバンクでの支払い』
をクリック
↓
支払う銀行を選択して、
インターネットバンキングにログイン
※一度、ブラウザを閉じてしまった場合は、E-支払いサイトの「申込内容照会」からログインしてください。
その際には、11ケタのお客様番号が必要です。
↓
払込内容を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

VISA　JCB　AMERICAN EXPRESS　UnionPay 銀聯

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、
支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、
支払手続を行ってください。

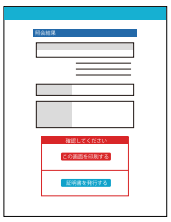
支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された「受付番号」と「生年月日」を入力して【収納証明書】を~~印刷してください。~~
PDFにして出願システムにアップロードする。

※プリンタのある環境が必要です。

3 出　願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を~~印刷して出願書類に封して出願~~。PDFにして出願システムにアップロードする。

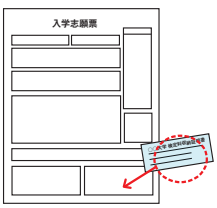


＜注意＞
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトにてお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

~~「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学検定料収納証明書貼付台紙の所定欄に貼る。~~
をPDFにして出願システムにアップロードする。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

※コンビニでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印刷」不要です。

⚠ 注意事項

●出願期間を要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

●支払最終日の『Webサイトでの申込み』は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。

●「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●一度お支払いされた入学検定料は返金できません。

●セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いの方は、支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、【収納証明書】を~~印刷して出願書類に貼付してください。~~PDFにして出願システムにアップロードしてください。

●「申込内容照会」で収納証明書が印刷できるのは、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いされた場合に限ります。

●入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。
（携帯電話からはお支払いできません）

●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる可能性があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。